

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 140

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 模擬原爆について知りたい

答) 「模擬原爆」をキーワードに検索してみます。

図書 → ことばから調べる → 模擬原爆 → 6件

『写真が語る原爆投下』(210.75/Ku17 閉架書庫)

『フィールドワーク 茨城県の戦争遺跡』(213.1/189 開架書棚)

『湖国に模擬原爆が落ちた日』(216.1/Mi97 閉架書庫)

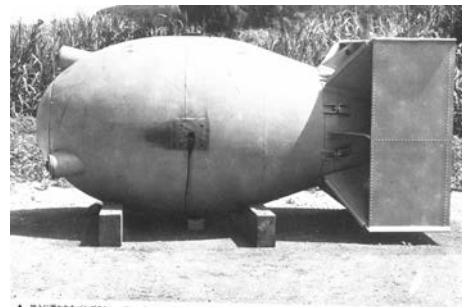
『生き残った兵士の証言』(916/D83 閉架書庫)

『孫たちへの証言』(916/F85/15 閉架書庫)

『太平洋戦争 銃後とその回想』(916/146 閉架書庫)

* 模擬原爆は、ずんぐりと丸く、全体がオレンジ色、
橙黄色に塗装してあったため「パンプキン」と
呼ばれました。

原爆投下の実践的訓練としてのパンプキン攻撃が、
日本全国の44か所で実行され、合計49発もの
巨大爆弾が投下されました。



模擬原爆パンプキン (米国国立公文書館)

(『写真が語る原爆投下』より)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

『週報』より…⑨
—義務教育年限の延長—



昭和 11 年 10 月に政府が官報の附録として発行した『週報』より、国民の生活に関する記事を
紹介していきます。

第 13 号 (昭和 12 年 1 月 13 日 発行)
～義務教育年限の延長～より

明治5年に初めて学制が頒布された際は、教育は義務制ではなかった。同33年に4年の義務教育制が
布かれ、5年後には6年に延長された。その後、機会あるごとに義務教育延長の画策が試みられたが、
種々の事情のため、実現されることがなかった。

諸外国と比較しても、6年と規定しているのは、パナマ、エクアドル、エストニア、フィンランド等の諸国で、
他はおおむね8年制又は9年制を採用していた。

年限延長の理由としては、

(1) 青年前期における教育の重要性

諸般の統計でも実証されているように、知性の方面で大きく成長する青年前期の教育が、彼等の将来に
大きく影響を及ぼす。

(2) 国防上の見地

国民全体の戦として国家総動員を必要とするため、国民一般に対する国家的意識の深化、体位の向上
及び知力、特に適当な判断力の養成、科学的知識の普及等は国防力の増進からみても重要である。

(3) 産業上の見地

産業の発展に適応する知能を啓発し、もって有為なる産業労働軍を育成する必要がある。

(4) 教育の機会均等より

教育の機会に恵まれない少年少女を保護し、将来の生活に対する健全な基礎を与えるといった教育の
機会均等も一部分実現することが出来る。

~~~~~  
この記事には「昭和12年度を其の準備期間とし、13年度より之を実施し、14年度にて之を完成する予  
定である」とあるが、昭和24年の学校教育法が施行されるまで、実現することはなかった。

—図書室から—

当館のHPがリニューアルされました。図書検索では、室内に設置されている検索システムと  
同様に目次を対象としたキーワード検索ができるようになりました。ぜひご利用ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 140

2011年11月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1